

第8回戦術委員会確認事項

2013年4月26日

全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より第8回戦術委員会を開催し、現時点までに引き出した回答を集約するとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 金属労協全体では、3,282組合のうち、2,682組合が要求を提出し、1,939組合が回答を引き出し、昨年と同程度の進捗状況となっている。

賃金構造維持分・賃金改善分を明確に区分できる1,440組合のうち、賃金構造維持分を確保した組合は1,352組合(93.9%)となり、昨年同時期の91.9%から若干改善している。このうち賃金改善を獲得した組合は254組合(17.6%)となり、昨年同時期の257組合(17.9%)と同程度となっている。

一時金は、昨年と比較できる1,270組合のうち、662組合(52.1%)が昨年実績に上積みを果たした。また、年間5ヵ月(半期2.5ヵ月)以上獲得した組合が27.2%、4ヵ月以上5ヵ月未満が38.7%となった。また、4ヵ月未満が34.0%と昨年同時期の35.7%から若干改善している。平均獲得月数は4.29ヵ月となり、昨年同時期の4.18ヵ月を上回っている。

2. われわれは、これまでに引き出した賃金構造維持分確保と賃金改善獲得、企業内最低賃金協定の締結拡大と水準引き上げ、一時金水準改善の流れを、今後回答を引き出す組合に波及させ、金属産業全体の底上げを図ることとする。各組合は、産別指導の下、粘り強く交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。

3. 第9回戦術委員会は、5月22日(水)10時より開催する。

以上